

「空港と航空機の安全」

増田博昭

- 1.開催日時 平成 19 年 7 月 25 日 10:20~11:40
- 2.場所 三里塚小学校 3F 会議室
- 3.参加人員 22 名
- 4.講師 増田博昭
- 5.内容と感想

自己紹介からはじめました。

元道職員(公務員)であったこと、現在は地質コンサルタントに勤務しているが決して天下りではないことを話して、先ずウケを取りました。

技術士会の色々な研究会に所属し、リージョナルステート研究会(循環技術システム)で畜産廃棄物に関する対策について、防災委員会で都市型災害についての提言集作成の協力をしてきたことなど、そしてかつて防災セミナーで話題提供した「豪雪時の空港」の内容がシニアスクールの講座に適していると思ったので、今回の開講に至った経緯を説明しました。また災害に対し自らが身を守る、自助：共助：公助＝7：2：1 であることなど防災の見地から減災の見地についての考え方について事前に説明しました。

農業土木は農地に対する土木で、圃場の区画整備、暗渠、客土が本筋であるが、今ではダム、道路、橋梁のほか自分が在職中は税金の無駄遣いで有名になった農道空港の整備も関連していることなどや、自分が農道空港担当で苦勞したことも話しました。

今回の話題は、その当時自身で調べ上げた技術や情報によることを説明し、いやな仕事であっても興味を持つことから仕事や勉強が始まり、奥行きが深くなることを説き納得を得ました。

事前配布した資料とパワーポイントを使用し、空港の概要や自然に対する備え、航空機についての概論など説明し納得をえました。

頭休めには Google Earth から取り込んだ新千歳空港や函館空港の空撮を利用し、グーグルを使った宇宙からの世界空中散歩の方法を伝授しました。

その他航空機が着陸態勢に入った時の PAPI の解釈など説明しましたら、非常に興味を持っておられました。

最後に身近で起きる変化には必ず科学的な理由があるので、皆さんも興味を持って調べられると、頭の体操につながり、脳の活性化につながることを話して締めました。

以上



増田さん、熱演の様子（写真提供：清田区民センター 編集：赤松）